

文学部横断型人文学プログラム履修者へ

プログラム運営委員会

**<文学部横断型人文学プログラム>
2022年度春学期「プロジェクト・ゼミ」履修者募集追加要項**

2022年度春学期開講のプロジェクト・ゼミ（ジャパノロジーコース）について、まだ空席がありますので履修を希望する学生は、以下の要領で必要書類をそろえ、締切日までに提出してください。

プログラム運営委員会で選考の上、3月下旬にLoyola上で本人に通知します。この選考に通った学生だけが履修を許可されますが、登録に関する手続きは、許可後に追って文学部長室より連絡致しますので、その指示に従ってください。

【応募資格】

- ① 現在2年次生以上であること。
- ② GPA（全履修科目の成績の平均）が2.5以上であること。
- ③ 以下a～cのいずれかを満たす者。
 - a) 当プログラムの「共通基礎科目」（4単位）を履修済みの者。
 - b) やむを得ぬ事情で共通基礎科目が不足しているが、テーマへの基礎知識が十分にある者。
 - c) 当プログラムの修了予定はないが、ゼミのテーマに関する知識が豊富で、本人のゼミ受講が他の受講者に有益である、とゼミ担当教員や運営委員会が認める者。

【提出書類】

- ① プロジェクト・ゼミ申請書（様式1）
- ② 成績通知書（Loyolaで出力可能）※Loyolaで見られない場合は成績証明書も可。
- ③ 自由選択科目認定申請書（様式2）（希望する科目がある場合）
- ④ 自由選択科目として認定を希望する科目のシラバス（希望する科目がある場合）

【締切と提出先】

2022年3月28日（月）（注）

文学部長室横断プログラム相談窓口：sophia.fhu.pd@gmail.com

（注） やむを得ぬ事情で締切に間に合わなかった人は、空きがあれば対応しますので、書類を揃えて大至急提出して下さい。結果はすぐにお知らせします。

【2022年春学期プロジェクト・ゼミの概要】

- ① 「プロジェクト・ゼミA（芸術文化論コース）」

担当者：福井 辰彦（国文学科教授）
曜日時限：木曜5限（予定）
授業題目：「落語の今昔・落語の東西」
授業概要：ここ数年、落語の人气が高まっている。学生諸君の中にも愛好者がおられるかも知れない。しかし、今日、各種メディアを通じて視聴されるのは、〈現代〉〈東京〉の落語である場合が、圧倒的に多いのではないだろうか。
落語は、江戸時代以来の長い歴史を持ち、それぞれの時代や世相に応じて実に多様な変化を経てきた。また、江戸（東京）と上方（大阪・京都）で、それぞ

れの風土・文化を背景に独自の発展を遂げ、時には相互に影響し合ってきた。本講義では、落語の歴史と東西落語の違いについて概説した後、受講者各自が「落語の今昔・落語の東西」というテーマで調査・研究を行い、論文を完成させる。
〈今昔〉〈東西〉という視点から、〈現代〉〈東京〉の落語を相対化しつつ検討し、〈笑い〉や〈芸能〉といったものについても、考えを深めるきっかけとしたい。

② 「プロジェクト・ゼミ C (ジャパノロジー・コース)」 ※4名の追加募集といたします。

担当者：小松原 由理 (ドイツ文学科准教授)

曜日時限：火曜 3 限 (予定)

授業題目「アヴァンギャルドと「日本」～美術・身体・デザイン・ジェンダー～」

授業概要：このプロジェクトゼミでは、イメージとしての「日本」が西ヨーロッパを中心とした前衛芸術＝アヴァンギャルドにおいてどのような役割を果たしたのか、多面的な視点において考察していきます。イラストレーションにおける「日本」から、バウハウスのプロダクトデザインへと影響を与えた「日本」まで、アヴァンギャルドのなかで生み出された「日本」イメージは一体どのような時代的欲求の反映なのか。活字文化を超えて、視覚的、あるいは身体的表現のなかにこそ浮かび上がる異文化交流の姿を捉えるべく、幅広く多様な視覚媒体を対象としながら、各自がプロジェクトを立ち上げ、それぞれの論をまとめることを目指していきます。

【注意】

1. プロジェクト・ゼミで履修した単位は、**18 年次生以前の学生は卒業要件に入りません。**
2. 現在 1 年次生は応募資格がありません。
3. 一人の学生が履修できるゼミは原則的に 1 つです。コースを確定している人は第一希望のみの記入です。複数コースにまたがる履修をしている人は、優先順位をつけて 2 つ記入可能です。
4. **選考に通ったけれども履修不可能になった人は、速やかに「履修相談窓口」(下記 9 参照)に知らせてください。**
5. 留学・休学・編入・転部科・9 月入学など特別の事情があり、履修状況が通常の学生と異なる学生は、個別に対応しますので、申請書の特記事項欄にその旨を書いてください。
6. 応募者が極端に少ない場合や辞退者が多数になった場合、追加募集を行う可能性があります。その場合は 2 月中に Loyola の文学部掲示板や文学部 HP で告示します。
7. 2022 年度のシラバスは 3 月中旬に公開予定です。つきましては、上記プロジェクト・ゼミの授業概要を参考としてください。なお、過去の文学部横断型人文学プログラムのシラバスを参照したい人は、Loyola の「シラバス参照」で、「年度」を入れ、「科目ナンバリング」に「HUM」と入力すると、まず科目一覧が出ます。このうち、「登録コード」が「HUM」で始まるものが、その年度の文学部横断型人文学プログラムの全科目です。
8. ①2022 年度に限り、芸術文化論コースの以下のゼミについてはジャパノロジー・コース修了を希望する者が履修をした場合、ジャパノロジー・コースのプロジェクト・ゼミ科目として認定します。
科目コード：122101
科目名：プロジェクト・ゼミ A(芸術文化論コース)
担当者：福井 辰彦
開講期：春学期

②2022 年度に限り、ジャパノロジー・コースの以下のゼミについては芸術文化論コース修

了を希望する者が履修をした場合、芸術文化論コースのプロジェクト・ゼミ科目として認定します。

科目コード：123103

科目名：プロジェクト・ゼミ C(ジャパノロジー・コース)

担当者：小松原 由理

開講期：春学期

9. 『文学部横断型人文学プログラム・履修ガイドブック 2021 年』（文学部 HP からダウンロード）や、『上智大学・履修要覧 2021 年度』の 200～206 ページを読み、不明点は、「履修相談窓口」（sophia.fhu.pd@gmail.com）までメールにて相談してください。